

日中ビジネスセミナー (第34回オープンセミナー)

<2020年1月21日(火)開催>

“最新！現代中国事情&日中異文化理解”

■人材育成/研修/教育ご担当者向けの無料試聴セミナーです

中国ビジネスに危機感はありますか？

近年の中国の変化、進化には凄まじいものがあります。

「日々新しいビジネスが誕生し、3ヶ月で様相が激変する」のが今の中国です。

すでに多くの産業分野において日本企業の実力は中国に遠く及ばず、その範囲は拡大する一方です。

日本の中国ビジネスは、もはや“どうやって勝つか？”から、“どうやって生き残るか”の時代です。

このセミナーでは、中国の現状と今後の発展計画を正しく把握・理解する一方で、日本企業の弱点とは何かを知り、サバイバルゲームを生き残り、勝ち抜くヒントをお話します。

【日本企業に共通して見られる5つの弱点→克服が、中国ビジネス成功のカギ】

1. 中国語が読めない→情報が取れず、更新もできない
2. 中国語が話せない→中国企業と直に交渉ができないため密な関係構築ができない
3. 日中間の文化の違いが理解できていない→日々、様々なトラブルを誘発してしまう
4. 中国の現代事情を知らない→大きなビジネスチャンスをみすみす逃してしまう
5. 常に3年、5年、10年先を考えた人材育成をしていない→中国ビジネスの負け組に

【講師】

麗澤大学名誉教授:三渚正道(みつま まさみち)先生 *講師詳細は裏面参照

日中異文化コミュニケーション論と、長年に渡る人民日報研究を通して常に情報を更新し続けており、現代中国分析は定評がある。多数の日本企業の講義の依頼も多い。

開催日時	2020年1月21日(火) 9:00~17:30
定員	(先着)30人
場所	東京都内(詳細未定) ※決まり次第お知らせいたします。
内容	裏面のプログラムをご参照下さい
講師	三渚 正道 先生(麗澤大学名誉教授、弊社顧問)
受講料	■人材育成/研修/教育ご担当者:無料 (一般:一般 44,000円 税込)
申込方法	■E-mailにてお申し込み下さい。 E-mail: m-yamaguchi@glova.co.jp まで参加者全員の氏名、企業名、部署名、住所、電話番号、メールアドレスを記入してお申込ください。 *お申込期限:2020年1月10日(金) ※定員になり次第切らせて頂きます

【プログラム(予定)】

〈はじめに〉大きな流れをつかむ「キーワードでたどる中国直近 20 年史」と、直近のトピックス

(1) 基礎の確認〈異文化へのアプローチ〉

(2) 〈グループワーク「中国と中国人の？」〉

(3) 〈相手を知る「中国人の言動・行動を構成する諸要素」〉

(1) 歴史的要因に由来するもの「いかにして自分の身を守るか」

中国宴会マナー10のポイント

(2) 文化として形成されたものⅠ (中国人気質-実利主義と結果主義)

(3) 文化として形成されたものⅡ (価値観・視点の違い)

(4) 社会の仕組みと制度の違いによるもの「日本人を惑わす中国人の3つの立場」

(5) どっちもどっちと誤解の産物

(4) 〈最新！中国現事情「変貌し続ける中国」〉

〈第一のテーマ〉 地域発展戦略-発展モデル「三沿開放」

〈第二のテーマ〉 地域発展戦略-「交通インフラ整備」

〈第三のテーマ〉 地域発展戦略-「経済圏の形成、一本化と分業化」

〈第四のテーマ〉 地域発展構想の新展開と新国土計画-「全国主体機能計画」

〈最後に:三瀧からの警鐘〉

・なぜ、日本はいつも中国を見誤るのか？

・これからの中国ビジネス人材に必要な不可欠なスキルとは？

【講師】 ^{みつま} ^{まさみち}
三瀧 正道 先生

略歴

- 麗澤大学 名誉教授
- 東京外国語大学大学院修了
- NPO 法人日中翻訳活動推進協会(而立会)理事長
- 日本中国学会・中国語学会 会員
- 日中異文化コミュニケーション研究会 代表世話人
- 株式会社グローヴァ顧問



日中異文化コミュニケーション論と、長年に渡る人民日報研究に基づく現代中国分析には定評があり、中国進出企業からの講義の依頼も多い。核心をついた理論と分析に加え、エネルギーで親しみやすい人間味溢れる人柄は、多くの「ミツマファン」を増やしつづける所以である。

また、「論説体中国語(現代中国語書き言葉)」の研究分野では世界的な学者であり、氏のライフワークでもある。

〈三瀧先生:日中ビジネスセミナー実施実績企業 (GLOVA 実施)〉

日本経済団体連合会、中国日本商会、上海日本商工クラブ、日本在外企業協会、東海日中貿易センター、(株)日立製作所、(株)日立総合経営研修所、富士通(株)、三菱重工業(株)本社、三菱重工業(株)長崎造船所、(株)デンソー、アイシン精機(株)、(株)豊田自動織機、豊田合成(株)、トヨタ紡織(株)、三菱倉庫(株)、ヤマハ(株)、TIS(株)、富士ゼロックス(株)、本田技研工業(株)、(株)ブリヂストン、コマツ、キヤノン(株)、(株)リコー、(株)ジェイテクト、ブラザー工業(株)、ダイキン工業(株)、東洋インキ SC ホールディングス(株)、(株)リタケカンパニーリミテド、住友電装(株)、味の素(株)、DIC(株)、キリングroup、サントリー(株)、デュボン(株)、富士電機(株)、日本ガイシ(株)、富士通化成(株)、(株)富士通システムズ・イースト、旭硝子(株)、旭化成工業(株)、富士通セミコンダクター(株)、(株)デンソーテン、(株)富士通システム・イースト、(株)東芝、東芝総合人材開発(株)、東芝テック(株)、東芝ライフスタイル(株)、アンリツ(株)、日本ゼオン(株)、(株)ツムラ、コニカミノルタ(株)、NTTドコモ(株)、NTTラーニングシステムズ(株)、NTT労組、アプライドマテリアルズジャパン(株)、三井・デュボンフロロケミカル(株)、(株)トクヤマ、高千穂交易(株)、NECディスプレイソリューションズ(株)、アトックス(株)、バンドー化学(株)、全日本空輸(株)、日立ビアメカニクス(株)、(株)日立ディスプレイズ、(株)日立ハイテクノロジーズ、東京エレクトロン(株)、東ソー(株)、富士通トラベランス(株)、(株)PFU、東洋ゴム工業(株)、日本特殊陶業(株)、タイコエレクトロニクスアンブ(株)、キヤノンファインテック(株)、日清オイリオ(株)、アボット製薬(株)、ロート製薬(株)、(旧)あさひ銀総合研究所、東亜無線電機(株)、日本水産(株)、(株)ノーリツ、東芝三菱電機産業システム(株)、キャリアサポート(住友化学グループ)、南京富士通南大軟件技術有限公司(中国南京)、(株)富山富士通、沖電気工業(株)、(株)明治、あいち産業振興機構、など

〈主な著書〉

「中国語論説体読解力養成講座」、「“人民日報で学ぶ”論説体中国語翻訳スキルⅠ」、「ビジネスリテラシーを鍛える中国語Ⅰ・Ⅱ(共著)」、「中国時事問題解説(シリーズ)」、「現代中国の軌跡(共著)」、「やさしいビジネス中国語(共著)」、「知りたいことがしっかりわかる実戦中国語文法」、「現代中国走馬看花」、「現代中国放大鏡(シリーズ)」、「現代中国トピックス」、「現代中国13の顔」等多数

〈主な翻訳/監訳〉

「氷点停刊の舞台裏」(著:李大同、日本僑報社刊)、「今、中国が面白い 中国が解る(シリーズ)」(訳:而立会)など多数

以上